News Release

2026年11月26日
NTTアドバンステクノロジ株式会社

LGBTQ＋の企業取組み指標「PRIDE指標」の最高評価「ゴールド」を10年連続で受賞

NTTアドバンステクノロジ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：伊東　匡、以下「NTT-AT」）は、企業のLGBTQ＋に関する取組みを評価する「PRIDE指標」に2026年度も応募し、最上位の「ゴールド」を10年連続で受賞しました。

「PRIDE指標」は、2016年に任意団体work with Prideが、企業などの枠組みを超えてLGBTQ＋が働きやすい職場づくりを日本で実現することをめざして策定した指標です。

NTT-ATは、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5つの指標すべてで要件を満たしたことにより「ゴールド」認定され、2026年11月25日（水）開催の「work with Pride 2026 カンファレンス」（主催：work with Pride 2026 実行委員会）で表彰されました。

NTT-ATは、NTTグループの一員として、社員一人ひとりの多様な価値観や個性を尊重し活用するダイバーシティ・マネジメント推進を重要な経営戦略のひとつに位置付け、LGBTQ＋の方々に関する取組みを進めています。

具体的には、多様な性への理解、Ally支援活動、SOGIハラスメントなどの差別禁止、希望する性の選択、社内コミュニティ活動などの制度の整備や活動を進めるとともに、社内外への周知・公表に継続して取組んでいます。今回の「PRIDE指標」最上位の「ゴールド」10年連続受賞を励みに、今後ともLGBTQ＋の当事者が働きやすい職場づくりに向け、取組みをより一層強化してまいります。

■本件に関するお問い合わせ先
NTTアドバンステクノロジ株式会社
経営戦略室　経営企画部門
広報担当
後藤・根本
https://www.ntt-at.co.jp/inquiry/koho/